

自昭和十六年十一月二十日  
至同十一月三十日

第1特別根據地隊事変日誌

(作戦及一般部)

所管	佐世保鎮守府
役務	南遣艦隊

0793

十月二十日(亦)西其天候晴曇久温云。風向ノ風力。中央標準時  
 本日附第十特別根地隊編制セラル(昭和十六年帝國海軍戰時編制参照)  
 一准士官以上官職氏名

司 令 官	海軍中將	戸 茂 隆 始
副 長 兼 參 謀	海軍大佐	大 西 敬 一
副 官 兼 參 謀	海軍中佐	岡 村 於 菫 彦
參 謀	海軍少佐	松 本 千 春
主 計 長	海軍主計中佐	中 山 清 市 郎
軍 醫 長	海軍軍醫少佐	丸 山 和 雄
分 隊 長	海軍大佐	上 條 深 志
附 隊 分 隊 長	海軍特務大尉	井 上 吉 次 郎
分 隊 長	海軍大尉	下 田 隆 夫
附 隊 分 隊 長	海軍特務大尉	長 橋 喜 間 太
分 隊 長	海軍主計大尉	堀 口 三 雄
附 隊 分 隊 長	海軍特務中尉	熊 谷 幸 平
分 隊 長	海軍特務中尉	西 谷 政 夫
附 隊 分 隊 長	海軍中尉	橋 本 正 巳
同 司 官	海軍少尉	山 口 正 巳
同 司 官	海軍主計中尉	黒 川 正 巳
同 司 官	海軍特務中尉	吉 田 信 男

0794

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同同 海軍兵曹長 海軍兵曹長 同同同同同同同 海軍兵曹長 海軍兵曹長 同 海軍兵曹長 同同同同 海軍持務少尉

川竹小門嶺杉永大北平崎野河福村株秋石竹海  
仁田野田 田 野 森 村 野 田 田 部 本 田 川 吉 河 下 汐  
虎一豊博次貞極清満數 詔農乙秀 政彌千島  
権郎郎 一 大 則 夫 藏 保 市 稔 八 作 吉 喜 敷 吉 作 太 治

0795

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

同同 海軍大曹長 海軍大曹長 同同同同同同同 海軍大曹長 海軍大曹長 海軍大曹長 海軍大曹長 海軍大曹長 同同同 海軍大曹長 海軍大曹長

川上 佐藤 寛 重留 上 前 小 右 手 水 上 前 田 井 上 古 賀 唐 崎 柳 田 大 森 伊 藤 西 藤 久 永 中 島 平 尾 吉 國 榮 利 次 暁 郎 郎 郎 郎 二 雄 二 美 郎 男 郎 雄 二

備考 左ノ通令ス

同

同

廣田新藏

陸警科長兼水警科長港務補給科長ヲ命カ

海軍大佐 上條深志

カミラン湾派遣隊指揮官ヲ命カ

海軍大尉 下田隆夫

ニ下士官現任員

兵科	下士官	兵	備	計
八三	三八〇	三		四六六
務國科	一五	六〇		七五
工作科	五	三		八
医務科	三	一〇		一三
主計科	六	二六	三	三二
計	一一三	四七九		五九四

警備艦備左ノ通 (二十日現在)

艦備地	准士官以上	下士官	兵	計
カムラン	四	二三	七七	一〇四
シララン船渠基地	一	三	二一	二五

0797

ソドモ貯蔵基地	1	2	19	22
西貢貯蔵基地		3	17	20
ハイイ貯蔵基地	1	3	12	16
司令部		1	5	6
第八通線隊		1	6	7
第一通線隊		1	8	9
第二通線隊		1	8	9
計	7	37	165	209
本隊	51	31	144	196
總計	58	42	179	245

備考

一西貢ソドモソクトラン各貯蔵基地ニ在ル燃料爆弾ノ分散貯蔵ニ努メ之ガ貯蔵監視

警戒ヲ嚴ニス

二前送各貯蔵基地ニ於ケル防空砲台所要ノ高角砲機銃未着ニ付之ガ輸送ヲ督促スル共ニ

當地ニ廠設営隊ヲ督勵同砲台基礎工事ノ促進ニ努ム

土月三十日(金)西貢 天候 前晴 気温 30.0 風向 E 風力 5.0 中央標準時

市内並ニ警備地区異状ナシ

土月三十日(土)西貢 天候 午前曇 気温 30.0 風向 SE 風力 3.5 中央標準時

市内並ニ警備地区異状ナシ

南越艦隊命令左ノ通令セラルル務密南越艦隊命令(第一號)

0798

當分、間島土特別根據地隊司令官、海南海軍建築部長、海南海軍之需部長又ハ海南海軍航空隊長、業務中佛印方面ニ於ケル業務ヲ指揮スベシ

左記者、帰土特別根據地隊司令官、海軍服務發令セラルル(南遣艦隊)

同	囑	同	技	囑	気象技師	海軍技師	海軍兵曹長	海軍特務少尉	同	海軍主計中尉	同	海軍少佐	海軍少佐	海軍少佐	海軍大佐
石	木	草	能	望	新	足	高	高	夫	澄	如	小	大	飯	山
井	坂	野	戸	原	達	橋	野	野	田	藤	烟	西	田	田	田
正	豊	和	時	悌	秀	左	仁	興	泰	智	真	秀	克	久	敏
則	彦	夫	男	二	隆	京	孝	三	男	智	雄	雄	和	世	世
(ソノトラン)	(カムラン)	(イ)	(九象班)	(齒科医)	(イ)	(九象班)	(イ)	(漢部西貢)	(漢部河内)	(漢部河内)	(分隊長代理)	(設営隊)	(イ)	(イ)	(九象班)

0799

紙第一

軍機

機密佛印根據地部隊命令作第三號

昭和十七年九月十日

佛印根據地部隊指揮官

戸部隆雄

70

佛印根據地部隊命令

當隊兵力部署ヲ別紙ニ通告ス

終

0500



兵力部署

區	佛 印 根 據 地 部 隊										
	陸 警 隊		水 警 隊			海 上 隊		通 信 隊			
分	司令部		カマキ島			カマキ島		カマキ島			
指揮官	第 十 一 特 別 根 據 地 隊 司 令 官										
兵 力	陸 警 隊 長			水 警 隊 長			永 福 丸 艦 長				
	銃隊一ヶ分隊		銃隊一ヶ分隊		銃隊一ヶ分隊		永福丸		留南丸		第五十八丸
任 務	西貢市及附近警備全般		西貢航空基地の監視		ソトエ航空基地の監視		水上基地監視		第十一通信隊		

備考  
 一、1109 派遣警備隊及1109 第三分遣隊ノ教育訓練ニ就テ夫々陸警隊長及1109司令官ノ  
 二、1109 附屬水偵隊カトライ基地ニ移動中ハ1109司令官直接之ヲ指揮ス  
 三、カマキ島ノカマキ島ニ移動中ハ1109司令官直接之ヲ指揮ス  
 四、1109 附屬水偵隊カトライ基地ニ移動中ハ1109司令官直接之ヲ指揮ス  
 五、カマキ島ノカマキ島ニ移動中ハ1109司令官直接之ヲ指揮ス

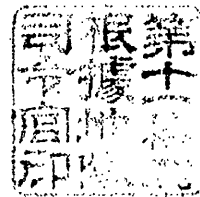


第十特別根據地隊第三〇號之三

至自昭和十八年一月一日  
昭和十八年一月三十一日

二月三日 送付

18  
20



第十特別根據地隊戰時日誌

第十特別根據地隊

0802

戰時日誌目次(一月分)

- 一 経過
- 二 人員、現状
- 三 令達、報告等
- 四 兵考
- 五 作戦経過概要
- 六 陸上警戒備隊
- 七 水上警戒備隊
- 八 通信科
- 九 機関科、工作科
- 一〇 醫務科
- 一一 主計科

- 一 二カムラン派遣隊
- 二 水上偵察機隊
- 三 特設梯海艇
- 四 特設監視艇
- 五 留日痛丸
- 六 第一甚幸丸
- 七 祇園丸
- 八 大華丸
- 九 第五八千代丸
- 一〇 第五關洋丸
- 一一 第七朝洋丸
- 一二 第二北洋丸
- 一三 大津丸

目次終

一 經過

(一) 敵情勢

本朝開通以來陸上敵艦地區異狀々々北阿事件以來佛印側を漸次帝國ニ對スル協力的態度ヲ深ムツアリ殊ニ本月上旬敵艦水艦ニ關シ佛印側ヨリ情報ヲ提供アリ之ニ基キ佛印側ト緊密ニ密ナル連絡ヲ保持シテ〇〇〇作戦ヲ遂行セリ海上敵艦地ニ於テ敵艦水艦四回出現セルモ之ヲ悉ク制圧セリ尚引續キ對艦敵艦ヲ嚴ニスベキ情勢ニアリ。

(二) 敵軍情勢

(1) 昭和十七年十一月十八日佛印海軍司令部ヨリ左情報並協議アリ即チ其秘參社社員タル元佛陸軍士官參事依ルニユリヨリ隱語放送ヲ行ヒ其約ニ週前後無人島ヲイスマロコビニ英潜水艦來着シ其秘參社ニ爆彈 暗號書ヲ渡ストナリ而シテ十一月十六日十七日コネドリニ佛語ニエース放送中「ニボ」ガ夫人ハ一月海水浴行タト放送ヲ聞ケル後リ新月タル一月五日前後來着スルニ非ザルカト想像ス佛印海軍トシテハ通報艦一隻ヲ一月一日頃同島派遣シ陸戰隊ヲ上陸セシメ秘參社ヲ取押ヘ度來着スルコトアルベシ潜水艦ハ日本海軍ニ依リ擊沈サレ度ニト。右情報ニ依リ「ニボ」ガ放送ヲ聽取セル處同様放送ヲ十一月十日迄連續五回行ス。

- (一) 一月十九日。三四五江之島沼田向航行中北緯一八度五分東經一〇九度五分。位置敵浮上潜水艦一隻發見砲撃す。
- (二) 一月二十日。八四。永福丸北緯一八度四分東經一〇九度二分於敵浮上潜水艦ヲ受ケ本命中(三番船艙左舷)セルモ差當リ航行差支ヲ自カシカニシテ擲リ棄テ一月十九日。北緯一八度五分東經一〇九度二分於東洋丸雷撃ヲ受ケ被害ナシ
- (三) 一月二十一日。一五北緯一八度東經一〇八度三分敵潜アリ(方位測定)

(三) 任務編制配備

- (一) 別表ノ通
- (二) 第七號特務隊 巨部隊電令作第六號及第七號。依リ自昭十七年十一月十一日。期間。O.B. 作戰部隊ニ編入セラル
- (三) 第十九號特務隊 巨部隊電令作第五號及第七號。依リ至一月十九日。期間。本職ノ指揮下ニ入ル
- (四) 巨部隊電令作第一七六號。依リ至一月十九日。期間。本職ノ指揮下ニ入ル
- (五) 巨部隊電令作第二七八號。依リ一月二十一日以降。本職ノ指揮下ニ入ル
- (六) 第一基隊及大基隊ヲ一月二十一日以降。水警隊ヨリ降カハラシ。基地部隊ニ編入ス

(三) 任務編制配備別表

備考	佛		印		根		據		地		部		隊		區
	司令部	水	警	陸	警	陸	警	陸	警	陸	警	陸	警	陸	
<p>第一通信隊第3分遣隊ハカムラン基地部隊指揮官ノ職務ニ関シテハカムラン基地部隊指揮官ノ指揮ヲ承クルモノトス</p>	司令部	本部 (西貢港)	サンジヤック 集合地	ニアバ 見張所	本部	西貢 航空基地	ソドモ	ソクトラン	パロコンドル	カッタライ 水上基地	航空部隊	カムラン 基地部隊	通信隊		
	<p>第十一分隊 別根據地 警陸 第十一分隊 別根據地 警水</p>														
	第十一分隊 通信隊長	第十一分隊 水警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	指揮官
	第十一分隊 通信隊長	第十一分隊 水警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	兵
	第十一分隊 通信隊長	第十一分隊 水警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	力
	第十一分隊 通信隊長	第十一分隊 水警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	任
	第十一分隊 通信隊長	第十一分隊 水警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	第十一分隊 陸警隊長	務

(四) 作戰指導

(小) 敵潜水艦三隻の佛印側情報ニ基キ、O、B 作戰部隊ヲ編成シ一月二日迄ニ第  
 十九號驅逐艦、音羽丸、留前丸ヲオモテ北四五度ニアルゴダマ群島派遣  
 同泊地ニ在泊スル佛艦ヲマルメト連絡待機セシムル共ニ佛艦ヲマルメラシメ水偵撃ヲ留  
 浮標二個ニ同泊地ニ設置シテ状況ニ依リ水偵ヲ同泊地ニ進出セシムルトス又永福丸  
 及第十九號驅逐艦ヲゴダマトシニ待機セシムルニ豫定シ十一月三十日第十九號驅逐艦ニ  
 將旗ヲ移揚シ出撃シ、ゴダマ附近待機嚴重警戒ス一月四日又ニ將旗ヲ永福丸  
 移揚シ作戰ヲ續クセルニ十一月十日ニ至ルニ何等敵情ヲ得ベドゴダマ方面、敵艦  
 攻撃ノ爲メ第十九號驅逐艦及第十九號掃海艦、派遣シ命ゼラレタル依リ作戰  
 打切り永福丸ヲオモテ十一月十四日西貢ニ歸航ス

(四) 一月十九日、三五五五号島照周向ケ航行中北緯一二度一五分東經一〇九度三十分位置ニ  
 敵潜水艦水艦一隻發見シ攻撃中ナル報ニ接シ直ニ水偵隊ヲシテ全力索敵攻撃  
 シ、本艦一四〇將旗ヲ永福丸ニ移揚直ニ西貢出撃現場ニ向テ敵艦  
 發見當時兵力ハ永福丸、第十九號驅逐艦、注之島及附屬水偵隊ニシテ第十九  
 號驅逐艦ハ發電機故障ノ爲メ出撃ヲ避テ又注之島ハ風波ノ爲メ行動困難ナ  
 シ爲メ永福丸及水偵隊ヲ以テ掃蕩ス實施ス  
 二十日、八四〇永福丸北緯一一度四九分東經一〇九度三十分ニ於テ敵艦ノ雷撃ヲ  
 受ケテ本船中(三番船艙尾艙)ニシテ着座中ノ船員及乗員自ラカムラン  
 灣ニ入港セリ、永福丸被害後ハ第十九號驅逐艦及第十九號掃海艦ヲ  
 シテ掃蕩ニ從事セシメタリ

一月二十五日。九三。將旗ヲ占守。移揚出撃隊第十九號馳逐獲。合之掃蕩ヲ實  
 施シ二十七日日出時。至北敵情ヲ得ズ。同日。日。カ。ハ。灣。ノ。歸。及。ス。二十一日。二。〇。  
 占守。ハ。水。上。東。洋。丸。ヲ。護。衛。シ。北。上。中。東。經。一。元。度。三。分。北。緯。一。五。分。於。テ  
 東。洋。丸。番。隊。ヲ。受。テ。被。害。ナ。シ。依。ッ。テ。占。守。及。水。偵。隊。ヲ。攻。撃。セ。シ。モ。効。果。不。明。  
 引。續。キ。占。守。音。羽。丸。留。前。丸。及。水。偵。隊。ヲ。掃。蕩。ヲ。實。施。シ。三。十。日。夕。刻。ニ  
 至。ル。敵。情。ヲ。得。ズ。索。敵。掃。蕩。ヲ。打。切。リ。  
 右。敵。掃。蕩。掃。蕩。作。戰。中。二十一日。一。五。水。偵。機。北。緯。一。二。度。二。分。東。經。一。九。  
 度。一。分。附。近。ヲ。不。時。着。落。荒。天。ノ。鳥。類。覆。ニ。名。救。助。一。名。行。衛。不。明。ト。レ。リ。

(四) 戰備及政策事項  
 ナシ

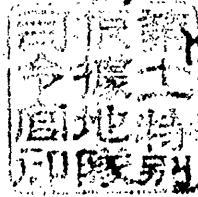




第十特別根據地隊第三〇號

自昭和十八年八月一日  
至昭和十八年八月十八日

18  
20



0309

第十特別根據地隊戰時日誌

第十一特別根據地隊

戰時日誌目次(三月分)

一	經	過	二カ之派遣	警備隊
二	人員	現狀	三水上偵察	機隊
三	令	達報告等	四特設掃海艇	音羽丸
四	參	考	五同	留前丸
五	作戰經過	概要	六特設監視艇	笠甚幸丸
六	陸上	警備隊	七同	祇園丸
七	水上	警備隊	八同	大華丸
八	通	信科	九同	第五六代丸
九	機關	工作科	一〇同	第五期洋丸
一〇	教育	科	一一同	第六期洋丸
一一	主計	科	一二同	第七期洋丸

(目次終)

一 經過

一 一般情勢

本期間ヲ通ジ陸上警戒備地區異狀ヲ佛印側ニ我方對スル  
協力的態度モ不變ナリ。二月十七日皇軍、廣州灣進駐及  
在支律租界接收之際シ佛印側、動向對シ警戒ヲ嚴シセ  
ルモ異狀ナク經過セリ。  
海上警戒備區域、於テハ敵潜水艦ノ出現セルコトニ回(不確實)警戒備  
狀況比較的良好ナルニ尚引續キ對潛警戒ヲ嚴シヘシ情勢ナリ。

二 敵軍、情勢

一 二月二日一九一。東經一一一度一八分北緯一〇度三三分於テ  
御室山丸浮上潜水艦發見  
二 二月九日二二三。東經一一一度一〇分北緯八度三〇分方位測  
定ニ依リ敵潜水艦アリト推定ス(精度B)

三 任務編制配備

一 別表、通

一 第一特根機、五番電及佛印機、五番電

一三一。六四六番電ニ依リ自二月六日期間占守艦長  
カムランニ基地部隊指揮官トナル

(三) 巨部隊信電令作第八三號ニ依リ二月十二日ハム。  
占守ニ對スル第十一特別根據地隊司令官ノ指揮ヲ解カル。

(二) 巨部隊信電令作第八三號及巨部隊電令作第九九。號ニ依リ  
自二月十一日期間第五驅逐隊(春風 松風 秋)第十一特別根  
據地隊司令官ノ指揮下ニ入ル

(ホ) 佛印根機密第一二一。六四六番電及巨部隊電令作  
第九九。號ニ依リ自二月十一日期間第五驅逐隊司令  
カムランニ基地部隊指揮官トナル。

(ハ) 佛印根機密第一二一。六四六番電ニ依リ水偵隊長  
カムランニ基地部隊指揮官トナル。

三 任務編制配備別表

備考	佛		印		根		據		地		部		隊		
	司令部		警		陸		警		航空部隊		カムラン		通信隊		
	本部 (西貢港)		ナンジマック 集合地		本部		西貢 航空基地		ソドモ		フコンドル		水上基地		
備考	第十一分隊														
	水		警		陸		警		地		隊		司令官		
	第十一分隊 水		第十一分隊 警		第十一分隊 陸		第十一分隊 警		第十一分隊 地		第十一分隊 隊		司令官		
備考	兵		力		任		務		隊		部		隊		
	作戦全般		船舶行動、管制		水路、警備		港務補給		集合地管理業務		船舶行動、管制		航空基地、警備		通信隊
	船舶行動、管制		水路、警備		港務補給		集合地管理業務		船舶行動、管制		航空基地、警備		通信隊		
備考 第一通信隊司令部 第二通信隊司令部 第三通信隊司令部 第四通信隊司令部 第五通信隊司令部 第六通信隊司令部 第七通信隊司令部 第八通信隊司令部 第九通信隊司令部 第十通信隊司令部 第十一通信隊司令部 第十二通信隊司令部 第十三通信隊司令部 第十四通信隊司令部 第十五通信隊司令部 第十六通信隊司令部 第十七通信隊司令部 第十八通信隊司令部 第十九通信隊司令部 第二十通信隊司令部 第二十一通信隊司令部 第二十二通信隊司令部 第二十三通信隊司令部 第二十四通信隊司令部 第二十五通信隊司令部 第二十六通信隊司令部 第二十七通信隊司令部 第二十八通信隊司令部 第二十九通信隊司令部 第三十通信隊司令部 第三十一通信隊司令部 第三十二通信隊司令部 第三十三通信隊司令部 第三十四通信隊司令部 第三十五通信隊司令部 第三十六通信隊司令部 第三十七通信隊司令部 第三十八通信隊司令部 第三十九通信隊司令部 第四十通信隊司令部 第四十一通信隊司令部 第四十二通信隊司令部 第四十三通信隊司令部 第四十四通信隊司令部 第四十五通信隊司令部 第四十六通信隊司令部 第四十七通信隊司令部 第四十八通信隊司令部 第四十九通信隊司令部 第五十通信隊司令部 第五十一通信隊司令部 第五十二通信隊司令部 第五十三通信隊司令部 第五十四通信隊司令部 第五十五通信隊司令部 第五十六通信隊司令部 第五十七通信隊司令部 第五十八通信隊司令部 第五十九通信隊司令部 第六十通信隊司令部 第六十一通信隊司令部 第六十二通信隊司令部 第六十三通信隊司令部 第六十四通信隊司令部 第六十五通信隊司令部 第六十六通信隊司令部 第六十七通信隊司令部 第六十八通信隊司令部 第六十九通信隊司令部 第七十通信隊司令部 第七十一通信隊司令部 第七十二通信隊司令部 第七十三通信隊司令部 第七十四通信隊司令部 第七十五通信隊司令部 第七十六通信隊司令部 第七十七通信隊司令部 第七十八通信隊司令部 第七十九通信隊司令部 第八十通信隊司令部 第八十一通信隊司令部 第八十二通信隊司令部 第八十三通信隊司令部 第八十四通信隊司令部 第八十五通信隊司令部 第八十六通信隊司令部 第八十七通信隊司令部 第八十八通信隊司令部 第八十九通信隊司令部 第九十通信隊司令部 第九十一通信隊司令部 第九十二通信隊司令部 第九十三通信隊司令部 第九十四通信隊司令部 第九十五通信隊司令部 第九十六通信隊司令部 第九十七通信隊司令部 第九十八通信隊司令部 第九十九通信隊司令部 第一百通信隊司令部	通信隊	カムラン	航空部隊	ソドモ	フコンドル	水上基地	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	
	通信隊	カムラン	航空部隊	ソドモ	フコンドル	水上基地	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	
	通信隊	カムラン	航空部隊	ソドモ	フコンドル	水上基地	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	第十一分隊司令官	第十一分隊長	

(四)

作戦指導

(1) 本期間、通シ海上陸上警戒備一區域、敵艦隊一萬全ラ期シ付  
屬艦隊ヲ以テスル船舶ノ直接護衛及水偵ヲ以テスル掃海海面  
ノ日施哨戒ヲ實施セリ。日施哨戒中二月二十二日水偵一機  
バムラン岬一六。度一。涅ニ不時着塔乗員全部無事收  
容セルモ機体ハ曳航中荒天ノ為顛覆沈没セリ。

(2)

二月二日一五。東經一一一度一八分北緯一。度三十分敵味方不明  
ノ浮上潜水艦発見トノ御空山丸報告ニ依リ水偵二機ヲ三日  
〇七。ヨリ同日一ニ一。迄該位置ヲ中ハトスル一。涅圈内  
ヲ索敵セルモ敵影ヲ認めズ索敵ヲ打切レリ。

(3)

永福丸入渠修理ノ為二月七日佛岬入船コバルトヲシテ曳航ガム  
ラン灣ヲ發シ日コサンジャックに着十日西貢着。カムランヨリコサンジャック  
迄占守及艦隊丸ヲシテ護衛セシム

(4)

自二月十三日至二月二十日期間佛岬海軍掃海隊(トキヲランイロン  
ホーレバール及ピカノミ)ヲシテコガン岬、バムラン岬間海面掃海セシム

(五) 戦備及政策事項

0814

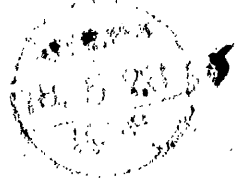
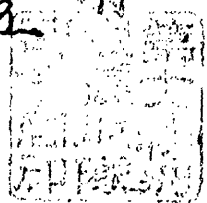




自 昭和十八年三月一日  
至 昭和十八年三月三十一日

第十一特根機務第三〇號之五

五月三日



0816

第十一特別根據地隊戰時日誌

第十一特別根據地隊



戰時日誌目次(三月分)

一	經	一	カハ之派遣敬告備隊
二	人員現狀	二	カハ之派遣敬告備隊
三	令達報告等	三	カハ之派遣敬告備隊
四	參考	四	カハ之派遣敬告備隊
五	作戦經過概要	五	カハ之派遣敬告備隊
六	陸上警戒備隊	六	カハ之派遣敬告備隊
七	水上警戒備隊	七	カハ之派遣敬告備隊
八	通信	八	カハ之派遣敬告備隊
九	機關科工作	九	カハ之派遣敬告備隊
一〇	政務科	一〇	カハ之派遣敬告備隊
一一	會計科	一一	カハ之派遣敬告備隊

(目次(三月分))

自昭和十八年三月一日  
至昭和十八年三月三十一日 第十特別根據地隊戰時日誌

一週

(一) 一般情勢

本期間ヲ通ジ陸上警戒備地區異狀ナク佛印側ノ  
我方對スル協力的態度モ不變アリ海上警戒備地區  
ニ於テハ敵潜水艦ノ出現セルコト五回(内不確實ニ回)  
ナルモ當隊海上警戒備區域内ニテ敵潜水艦ノ攻撃  
ヲ受ケタルモノ皆無ニシテ警戒備狀況比較的良好ナルモ  
尚引續キ對潛警戒ヲ嚴ニスベキ情勢ニ在リ。

(二) 敵軍ノ情勢

三月五日一三四三北緯 一一度五二分東經 一一度

- 一八分。於テ日南丸潜望鏡ニキモ、發見
- (四) 三月五日一五三。北緯一一度五九分東經一八一度  
一一分。於テ瑞洋丸潜望鏡ニシキモ、發見
- (三) 三月十六日。一八。タグネ島防備衛所、五五度南  
北緯一八度五四分東經一〇九度二一分附近敵潜水  
艦音ヲ聽知セリ(タグネ島防備衛所)
- (二) 三月二十二日。一〇。北緯一五度二六分東經一〇九度  
二九分。於テ三福丸敵浮上潜水艦發見
- (ホ) 三月三十日。〇。北緯一八度四八分東經一〇九度  
二三分附近敵浮上潜水艦ヲ聽知セリ(タグネ島防備衛所)

(三) 任務編制配備

0819

任務編制配備

備考	區 佛 印 根 據 地 部 隊									
	附屬	通信隊	カラン基地部隊	陸警隊			水警隊		司令部	第十
				カラン基地	ソコトラン	西貢艦隊基地	本 部	ナベ見寮		
第十通信隊 第十陸警隊 第十水警隊 第十司令部 第十特別根據地 第十特別根據地 第十特別根據地	官	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令	司令
	兵	第十通信隊長	第十陸警隊長	第十水警隊長	第十司令部	第十特別根據地	第十特別根據地	第十特別根據地	第十司令部	第十特別根據地
	力	第十通信隊本部	第十陸警隊本部	第十水警隊本部	第十司令部	第十特別根據地	第十特別根據地	第十特別根據地	第十司令部	第十特別根據地
任	第十通信隊本部	第十陸警隊本部	第十水警隊本部	第十司令部	第十特別根據地	第十特別根據地	第十特別根據地	第十司令部	第十特別根據地	第十特別根據地

0820

03

四) 作戰指導

(1) 本期間ヲ通シ海上陸上警戒備區域、警戒備區、萬全ヲ期シ、附屬艦艇ヲ以テスル船舶、直接護衛及水偵ヲ以テスル擔任海面、日施哨戒ヲ實施セリ。

(四) 三月五日一五三。北緯一一度五分東經一一一度一分於南洋丸塔望鏡ニシキモ、發見ト報告依リ第九號驅逐艦ヲ三月六日ニ出動タガ不島ノ東四。深附道ニテ對港掃蕩ニ從事セシメ水偵ヲシテ。ヨリ第九號驅逐艦ニ協力對港掃蕩ニ從事セシムト共、擔任海域航行中、大深丸及北上丸ヲ連船團ヲ警戒護衛セシム。留前丸六日ニ。以後一時間待機セシム。六日ハ四。本職將領第九號驅逐艦ニ移揚同艦ヲ率テ西貢島數年途中北上航行中、那須丸ヲ護衛シ對港掃蕩ニ從事首首五。第九號驅逐艦第九號驅逐艦ニ合同水偵隊ヲ含メ引續對港掃蕩ニ從事三月九日一五第九號驅逐艦一時掃蕩中止。ツラツラニ入港補給待機三月十日一四一五第九號驅逐艦ツラツラ出數手對港掃蕩ヲ再開ス。三月十日一四一六第九號驅逐艦ツラツラ入港補給三月十一日一四一五ギンギン出數手對港掃蕩安良龍同日一六三五至ルモ敵情得テ掃蕩作戰ヲ打切りカムラヒ灣ニ入港セリ。

(三) 三月十六日。二。タガ不島防備衛所、五五度七深北緯一一度四分東經一。九度二。分ニ敵潜水艦音ヲ聽知セリ。ト、タガ不島防備衛所、報ニ依リ。八四一直ヲ第九號及第九號驅逐艦ヲシテ出數手敵潜水艦出現

點ヲ中心トスルニ。淫園内ヲ索敵掃蕩セシムルト共ニ水偵ヲシテ。八二五出發  
 索敵セシム同日。一八一別ニ水偵一機ヲシテ。カシヤツト。發北上船團發艦戒  
 護衛セシムルト共ニ。切田前丸ヲシテ。カハラン灣口附近ニ待機セシム  
 三月十七日。一七五。第十九號驅落艦ハ索敵中。止シカ。合ニ。版設補給機  
 セシム同日。一八一。留前丸ヲ修理。爲西貢自航セシム。三月十八日。一八一。至ルモ  
 敵情ヲ得ズ。對掃掃蕩ヲ打切り。第十九號驅落艦ヲシテ。第三伏見丸  
 直接護衛。任ゼシメタリ。

(二) 三月二十二日。一八一。北緯一五度。六分。東經一〇九度。二九分。於テ。三福丸  
 敵ヲ索水艦發見ト。敵ニ依リ。直ニ水偵一機ヲシテ。索敵攻敵ヲセシムル  
 上。共ニ。第九及第十九號驅落艦ヲシテ。一五八。出敵ヲ對掃掃蕩ヲ打切り。從  
 事セシム。三月二十五日。一八一。北緯一五度。二九分。東經一〇九度。二九分。於テ。三福丸  
 カハラン灣入港。補給待機セシム

(三) 三月三十日。一八一。北緯一五度。八分。東經一〇九度。二九分。於テ。敵海上掃水艦ヲ聽カセリ  
 タル。近島防衛所。敵艦一機ヲ見。三月三十日。第十九號驅落艦。カハラン灣。出敵ヲシテ。三福丸  
 島ヲ中心トスル。概テ。淫園内ヲ探偵掃蕩ス。六分。ヨリ。水偵ヲシテ。カハラン  
 前。北。カハラン灣。間。海岸。四。淫園。索敵セシム。三月三十一日。一八一。至ルモ。敵  
 情ヲ得ズ。掃蕩ヲ打切り。カハラン灣。補給待機セシム。

四 戰備及政策事項  
 ナシ



第十特別根拠地隊戦時日誌

六月十四日送付

自昭和十八年四月八日  
至昭和十八年四月三十日

8/9

第十特別根拠地隊戦時日誌

第十特別根拠地隊



0823

戰時日誌目次（四月分）

一 經 人 員 現 狀 考 究  
 二 令 達 報 告 考 究  
 三 參 戰 概 要  
 四 陸 上 戰 隊 考 究  
 五 水 上 戰 隊 考 究  
 六 通 信 隊 考 究  
 七 機 關 科 考 究  
 八 醫 務 科 考 究  
 九 主 計 科 考 究  
 一〇 支 隊 考 究  
 一一 カムフラージュ 考 究  
 一二 遺 蹟 考 究

（目次終）

一 水 上 偵 察 機 隊  
 二 特 設 掃 海 艇 隊  
 三 留 前 隊  
 四 特 設 掃 海 艇 隊  
 五 留 前 隊  
 六 特 設 掃 海 艇 隊  
 七 留 前 隊  
 八 大 華 園 隊  
 九 第 五 八 夜 隊  
 一〇 第 五 關 隊  
 一一 第 七 朝 隊  
 一二 第 三 北 隊



自昭和十八年四月一日  
至昭和十八年四月三十日  
第十一特別根據地隊戰時日誌

一 經 過  
二 一般情勢

四月十七日一六二。待從武官西貢飛行場着十八  
日在西北貢艦船部隊官衙實視、上十九日〇九四  
五西貢飛行場發三更二向ハル  
四月中ヲ通シ陸上警戒備地區異状ナク佛印測、我  
方對スル協力的態度モ不變アリ海上警戒備地區  
ニ於テハ敵潜水艦ノ出現セルコトニ回ハ内不確實一回  
ナルモ當隊海上警戒備區域内ニテ敵潜水艦ノ攻撃  
ヲ受ケタルモノ皆無シテ警戒備狀況比較的良好  
ナルモ尚引續キ對潛警戒戒ヲ嚴ニスベキ情勢アリ

(一) 敵軍ノ情勢

(イ) 四月一日一〇。北緯九度一〇。分東經一〇九度二二分  
ニ於テ斗山丸潛望鏡ヲシキモノ發見(斗山丸  
船長口頭報告)  
(ロ) 四月十九日二二。北緯一三度〇二分東經一〇二度〇分  
敵潛ノ存在攬ネ確實ナルモ位置ニ誤差アリ  
(方位測定)

(三) 任務編制配備

(イ) 別表ノ通

(ロ) 四月七日打電令第五二六號ニ依リ四月十五日附第  
二十號艦潛艦及第二十一號艦潛艦ヲ内南洋部隊  
ヨリ除キ原隊ニ復歸セシメラル  
(ハ) 四月十五日打電令第五三三號ニ依リ  
第二十一號艦潛艦及第二十一號艦潛艦ヲ馬來  
部隊ニ編入セシメラル

三任我編制配備別表

備考 第1通隊 第3分遣隊 第6戰隊 蘭シカ カミ 基地部隊 通信隊 第1通隊 第3分遣隊 第6戰隊	區		佛		印		猿		據		地		部		隊				
	司令官		水		警		陸		警		陸		警		水		司令官		
	第11通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	
第1通		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別		第1特別	

(四) 作戰指導

ハ本期間ヲ通ジ海上陸上警備區域ノ警備萬

全ラ期シテ附屬艦艇ヲ以テスル船舶ノ直接護衛及水

偵ラハラスル塔任海面ノ日施育或ヲ實施セリ

三月三十日信第七八五。部隊情報班ヨリ日米國

潜水艦ニ隻約一週間前「オロオロ」島ニ寄港

シ「カマツ」地ニヨリ「ジヤンク」ニテ糧秣其ノ他ノ補

給ラセリトトハ情報ヲ得タルニヨリ直ニ之ガ事實

眞否ニ付テ調査着手シ四月十三日第十九號艦

ヲ現地調査「オロオロ」島ニ派遣セリ十五

日。第十九號艦ハ西貢出港十四日一六八五

「オロオロ」島錫地ニ詳細調査ヲ行ヒ十七日

ニ。事實ヲキテ確認スルニ至リ本調査ヲ打切リ

ハ四月二十一日一六。本職將旗ヲ第十九號艦ニ

移揚同艦ヲ率テ西貢出撃シ二十三日。オロオロ

「オロオロ」島着同派遣隊ヲ巡視二十四日一八。同島

函 戰備及政策事項

ナ  
シ

ヲ出撃手 察敵有戒ヲ行ヒツツ二十五日一。カムラン着  
 二十七日一八。第十九號驅替艦及第十九號驅替艦ヲ  
 率ヒカムランに出撃手第三七船團及第三八船團護  
 衛伍務ヲ就シ二十八日一四。第十九號驅替艦及  
 第十九號驅替艦第三七船團護衛ヲ開始シ  
 二十九日一。三四第十九號驅替艦及第十九號驅替艦  
 第三七船團護衛ヲ止メ第三八船團護衛向  
 三十日一。第十九號驅替艦第三七船團護衛向  
 上本職第十九號驅替艦ヲ率ヒツツ又一方  
 行勤シ連武九護衛任シ第十九號驅替艦ハ  
 第四九二船團護衛任シ就ク



第十一特別根據地隊戰時日誌

自昭和十八年五月一日  
至昭和十八年五月三十一日

七五

8/9

第十一特別根據地隊戰時日誌

第十一特別根據地隊



0830

一 經 過  
 二 人 員 現 狀  
 三 令 達 報 告 考 等  
 四 參 考  
 五 作 戰 經 過 概 要  
 六 陸 上 警 備 隊  
 七 水 上 警 備 隊  
 八 通 信 科  
 九 機 關 科 工 作 科  
 一〇 醫 務 科  
 一一 主 計 科

(目次終)

一 二 カラ、ノ派遣敢言備隊  
 一 三 水 上 偵 察 機 隊  
 一 四 特 設 掃 海 艇 音 羽 丸  
 一 五 同 留 前 丸  
 一 六 特 設 監 視 艇 第 一 甚 幸 丸  
 一 七 祇 園 丸  
 一 八 大 幸 丸  
 一 九 第 五 八 十 代 丸  
 二〇 第 五 開 洋 丸  
 二一 第 七 朝 洋 丸  
 二二 第 三 北 洋 丸

0831

自昭和十八年五月一日  
至昭和十八年五月三十一日 第十一特別根據地隊戰時日誌

## 一 經過

### (一) 一般情勢

吾中ヲ通シ陸上警備地区異狀ナク佛印側ノ我方ニ對スル協力的態度モ不変ナリ海上警備地区ニ於テハ敵潜水艦ノ出現セルコト三回(内不確定二回)ナルモ當隊海上警備地区域内ニテ敵潜水艦ノ攻撃ヲ受ケタルモノ皆無ニシテ警備狀況比較的良好ナルモ尚引續キ對潛警戒ヲ嚴ニスベキ情勢ニアリ

### (二) 敵軍ノ情勢



(イ) 五月十八日。三。敵潜水艦確實タグネ島防備衛所ヨリノ方位  
一三五度距離七五〇。針路北六節(タグネ防備衛所)

(ロ) 五月二十三日。八五二北緯七度四分東経一〇八度三七分敵潜水艦  
鏡ヲ發見稍不確實(とんざつ丸)

(ハ) 五月三十日。一三〇。潛航中ノ敵潜水艦ラシキ音源ヲ聽知ス衛所ヨ  
リノ方位一六〇度一三六〇。南下中(タグネ防備衛所)

### 三 任務編成配備

(イ) 別表ノ通り

(ロ) 五月十一日E部隊信電令作第九三號ニ依リ第土特別根據地隊  
附屬水上偵察機 $\frac{1}{2}$ (官房機密第一〇五五四ニ番電ニ依リ増勢  
ノ分)ヲ昭南根據地隊ニ派遣ス

(ハ) 五月十八日E部隊信電令作第九四號ニ依リ五月二十日附ニテ  
第二十號駆潜艇ヲ昭南根據地部隊ニ編入セシメラル

三 任務編制配備別表

佛印根據地部隊		水警隊				陸警隊				司令部		指揮官	兵力	任務																																																																																																				
附屬	通信隊	本部		(西貢)	サンジヤク	集合地	六見張所	本部		カトラン基地	アロコンドル				ソコトラン	西貢航空基地	ツドモ																																																																																																	
備考	第一通信隊	第三分遣隊	第八作戰區	シカラン基地部隊指揮官	区	處	カ	モ	ト	ス																																																																																																								
備考	第一通信隊	第三分遣隊	第八作戰區	シカラン基地部隊指揮官	区	處	カ	モ	ト	ス	司令官				第一特	第二特	第三特	第四特	第五特	第六特	第七特	第八特	第九特	第十特	第十一特	第十二特	第十三特	第十四特	第十五特	第十六特	第十七特	第十八特	第十九特	第二十特	第二十一特	第二十二特	第二十三特	第二十四特	第二十五特	第二十六特	第二十七特	第二十八特	第二十九特	第三十特	第三十一特	第三十二特	第三十三特	第三十四特	第三十五特	第三十六特	第三十七特	第三十八特	第三十九特	第四十特	第四十一特	第四十二特	第四十三特	第四十四特	第四十五特	第四十六特	第四十七特	第四十八特	第四十九特	第五十特	第五十一特	第五十二特	第五十三特	第五十四特	第五十五特	第五十六特	第五十七特	第五十八特	第五十九特	第六十特	第六十一特	第六十二特	第六十三特	第六十四特	第六十五特	第六十六特	第六十七特	第六十八特	第六十九特	第七十特	第七十一特	第七十二特	第七十三特	第七十四特	第七十五特	第七十六特	第七十七特	第七十八特	第七十九特	第八十特	第八十一特	第八十二特	第八十三特	第八十四特	第八十五特	第八十六特	第八十七特	第八十八特	第八十九特	第九十特	第九十一特	第九十二特	第九十三特	第九十四特	第九十五特	第九十六特	第九十七特	第九十八特	第九十九特	第一百特
											第十一分	第十二分	第十三分	第十四分	第十五分	第十六分	第十七分	第十八分	第十九分	第二十分	第二十一分	第二十二分	第二十三分	第二十四分	第二十五分	第二十六分	第二十七分	第二十八分	第二十九分	第三十分	第三十一分	第三十二分	第三十三分	第三十四分	第三十五分	第三十六分	第三十七分	第三十八分	第三十九分	第四十分	第四十一分	第四十二分	第四十三分	第四十四分	第四十五分	第四十六分	第四十七分	第四十八分	第四十九分	第五十分	第五十一分	第五十二分	第五十三分	第五十四分	第五十五分	第五十六分	第五十七分	第五十八分	第五十九分	第六十分	第六十一分	第六十二分	第六十三分	第六十四分	第六十五分	第六十六分	第六十七分	第六十八分	第六十九分	第七十分	第七十一分	第七十二分	第七十三分	第七十四分	第七十五分	第七十六分	第七十七分	第七十八分	第七十九分	第八十分	第八十一分	第八十二分	第八十三分	第八十四分	第八十五分	第八十六分	第八十七分	第八十八分	第八十九分	第九十分	第九十一分	第九十二分	第九十三分	第九十四分	第九十五分	第九十六分	第九十七分	第九十八分	第九十九分	第一百分														

2 0834



第十一特根機密第三〇號八

自昭和十八年六月八日  
至昭和十八年六月二十日

第三十番

8/9



第十一特別根據地隊戰時日誌

第十一特別根據地隊

0835

戰時日誌目次(六月分)

- 一 經 過
- 二 人員 現 狀
- 三 令 達 報 告 等
- 四 參 考
- 五 作 戰 經 過 概 要
- 六 陸 上 警 備 隊
- 七 水 上 警 備 隊
- 八 通 信 科
- 九 機 關 科 工 作 科
- 一〇 醫 務 科
- 一一 主 計 科

- 一三 カムラノ派遺警備隊
- 一四 特設掃海艇音羽丸
- 一五 留前丸
- 一六 特設監視艇第一甚幸丸
- 一七 祇園丸
- 一八 大華丸
- 一九 第五八六代丸
- 二〇 第五開洋丸
- 二一 第七開洋丸
- 二二 北洋丸

(目次終)

自昭和十八年六月一日 第十特別根據地隊戰時日誌  
至昭和十八年六月三十日

# 一 經過

## (一) 敵情勢

本期間ヲ通シ陸上敵言備地區異狀ナク佛印側、我方ニ對スル態  
度モ不變ナリ海上敵言備地區ニ於テハ敵潜水艦、出現セルコト  
七回(内不確毎員ナルモ、三回)當隊海上敵言備地區内ニ敵潜  
水艦、攻撃ヲ受ケタルモ、二隻ニシテ共ニ被害ナキモ潜水艦、出現  
ハ急増情勢ニアリテ引續キ對潛敵言成ヲ嚴シシツツアリ

## (二) 敵軍情勢

(1) 六月十五、二十、二十五、三十一日測定ニ依リ敵潛ラシキモ北緯一〇度分東經二八  
度四分(本隊)、方位測定未潜水艦(ノイマイ)十五日  
二〇四、概位北緯九度東經二二度精度B(位置誤差一〇哩以内)

認めラルルニ(109) 六月十六日。三ニ方位測定(ニ方位線)依

ルNAMIA(敵潜水艦推定概位)北緯一五度三分東經二三度四分(319)

(四) 六月十六日一八。五敵潜水艦、雷敷手ヲ受テ損害ナシ北緯一。度四分東

經一。二度六分(第二小倉丸)

(ハ) 六月十六日一八。敵潜水艦、雷敷手(一本)ヲ受テ損害ナシ北緯一。度

五。分東經一。一。度(カ行丸)

(ニ) 六月十三日二。北緯一五度三分東經一。度三分方位測定

(大海潜水艦情報)

(イ) 六月二十日三。六方位測定米潜水艦(NERK)概位北緯一五度

三。分東經一。度三分。分精度B(109)

(ロ) 六月二十三日。八。敵潜水艦一隻見北緯一五度四分東經一五度三分(日蘭丸)

六月二十六日。一五。方位測定米潜水艦(NERK)概位三。五。分一八

四五北緯九度東經一。八度三分。分精度B(109)

三任務編制配備

考備	隊部地		根		印		佛		區
	隊部地		根		印		佛		
一 第十師司令部 二 第十師司令部 三 第十師司令部 四 第十師司令部 五 第十師司令部	第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		分
	第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		指揮官
	第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		兵
	第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		力
	第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		任
	第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		第十師司令部		教力

(四) 六月一日官舎機務第〇〇〇番電ヨリ六月一日附第十七通信隊ハ廢止セ  
レ從來十一通信隊ニ於テ實施ノ通信ハ本隊ニ之ヲ行フコトナリ  
之伴ヒ佐人機務第〇三二二四番電及佐人機務第〇七七五番電  
ニヨリ十一通ヨリ兵曹水兵一〇機曹機兵一七衛曹衛兵三主曹  
主兵七本隊ニ轉入セリ

(ハ) 巨部隊電令作第三三三號依リ六月六日三三五第三十號艦潜  
艇ハ本職ノ指揮下ニ入り馬來部隊電令作第三三三號ヨリ  
六月二十日八九三。本職ノ指揮ヲ解カル

(ニ) 巨部隊電令作第三三八號依リ第三十號艦潜艇ハ對替掃蕩  
艇ニ護衛ニ関シ六月二十三日一四四五本職ノ指揮下ニ入り三  
聖在在發ノ臨時船團(司令丸スマトラ丸明石丸奉天丸)ノ船  
返護衛セシム六月二十七日。八三。本職ノ指揮ヲ解カル

四) 作戰指導



(イ)五月三十日引續キ敵潜水艦掃蕩ヲ實施中ノ處敵情ヲ得ズ  
二日ハ各監視艇ヲ平常配備後歸セシメテ掃蕩作  
戦ヲ打切レリ

0841

(ロ)六月十五日二日五本隊通信科ヨリ方位測定ニ依ル敵潜水艦  
ノ北緯一〇度。六分東經一〇八度四分。分トノ報告ヲ接シ直  
チ三九ノ船團ヲ適宜避航セシメ更ニ通信隊ヨリ  
ノ方位測定米潜水艦(ハAMI)十五日二四分ノ概位北  
緯九度東經一二度精度B<sub>1</sub>及び三十一通信隊ヨリノ  
方位測定(ニ方位線)ニ依ルAMI(敵潜水艦ト推定)ノ概位  
北緯一二度二分東經一二三度四分。分トノ通報ヨリ十六日拂  
曉ヨリ水偵ヲ以テ第三九ノ船團ヲ直衛スルト共ニ索敵セシメ  
九駆潜ヲ以テ十六日〇五五。西ニ見出報ヲ索敵攻撃ヲ當ラシム  
十六日一八。五第二小倉丸北緯一〇度四分東經一二度。六分  
敵潜水艦ヲ雷雷ヲ受ク更ニ一八。〇力行丸北緯一〇度五分

東經一二一度。分敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ク十六日ハ三。第十  
 九號驅潜艇ガムラニ出撃前記敵潜掃蕩ニ加入セシム十六日  
 ハ三五巨部隊雷令作第三三號依リ第五號驅潜艇本  
 職ノ指揮ニ入リ佛印部隊雷令作第三號依リ一。四五  
 カンジャツクト出撃カムラニ基地部隊指揮官ノ指揮ヲ承ケ敵  
 潜掃蕩ニ従事セシム。音羽丸ハ佛印部隊雷令作第  
 四號依リ一。五。カムラニ出撃手敵潜掃蕩ニ加入セシム  
 連日ノ悪天候ヲ目シ掃蕩ハ十六。十七。十八。十九日ト續行セ  
 シ十九日音羽丸既ニ速力ノ余力ヲ加フ三七三。ヨリ罐管漏  
 洩ヲ始メクルヨリニ二三一音羽丸西貢回航ヲ令ス二十日ハ。四七  
 佛印根據地部隊雷令作第六號ニ一。二。第三號驅潜艇  
 カムラニ基地部隊指揮官ノ指揮下ヨリ除キ西貢ニ回航セシム  
 一。五。荒天ニ加フニ敵情ヲ得スニテ佛印根據地部隊雷令作  
 第七號ニ同ニ號ニ依ル作戦ヲ打切ル

六月二十三日。八。七。敵潜水艦見ニ北緯七度四三分東經一。度

三今日蘭丸ノ通報ニ依リ。九四五佛印根據地部隊電令  
作第八號ヲ以テ水偵ニラシテ右灣水艦ヲ攻撃セシメタル  
モ敵情ヲ得ズニ十四日一五。右攻撃ヲ打切ル

(四) 六月二十六日。一五第十通偵隊ヨリヨ方位測定米灣水艦  
(N 15 R K) 概位ニ十五日一八四五北緯九度東經一〇八度三〇分積度  
Bトノ通報ヲ得シ佛印根據地部隊電令作第十號ニ依リ  
〇七三。第十九號艦ヲ西貢ヲ〇八三。第九號艦ヲ  
シテカミンロヲ出撃セシメ同時〇八〇。以後水偵機逐次發  
進右作戰ニ協力セシメ敵艦掃蕩ヲ實施セシム行柄ノ  
惡天候ヲ目シシテ六月廿一日至廿九日三十日敵艦索  
敵續行セシモ敵情得ズニ遂ニ三十日〇八〇。索敵ヲ打切ル

### (五) 戰備及政策事項

ナシ

# 五作戦經過概要

	西	丸	福	永	所
	西	艇潛駆	號九	第	
△カ		艇潛駆	號九	十第	
—	—	艇潛駆	號八	十二第	
	西	丸	羽	音	在
	西	丸	崩	留	
△カ	カ	(隻四)艇視監			
△カ	カ	隊備警遣派隊偵水			
	三五〇	一	曇	十時	視氣風風天
	五六〇	二	雷雨	前	界氣風風天
	五六〇	三	北	時	界氣風風天
	五六〇	四	西	没	界氣風風天
西南隊艦合取	來馬隊都西南	勢任般一			特
クツヤジンサ	貢西	勢任別特			
本期(自一日)俾印 陸上警備地区至穩 異状ナシ 永福丸留崩北見大津 前月ニ列續キ本期間 佛印船渠入渠地ニ岸 壁其側付修理警員施 三〇〇艇泊十九カ合入 港補給ハ五〇八カラニ 基地キチ〇二四五五ニ依リ 出撃任務ニ就ク	經過概要				
一艇潛至馬來部隊 去隊ニ編入 作戰ニ從事 一艇潛至馬來部隊 地部隊ニ編入 馬來根指揮官ノ指 揮ニ依リ作戰ニ從事 一特設監視艇 小笠原丸ヲ以テ 朝鮮半島ノ南西方 面飛遊哨司令官ノ	記事				

貢	
貢	
カ	三
	五
貢	
貢	
清	ラ
清	ラ

墨西	一六〇
晴	一〇五

方 面 艦 隊 一 南 遣 艦 隊 十 一  
 部 隊 佛 印 根 據 地 部 隊 十 一  
 カ ム ラ シ 清 方 面 防 備 警 戒 港

四音羽丸前月二引續々奉 壁橋付修理実施 五監視艇祇園丸第五 八十九第九一基章丸カ ムラシ方面ニ在リ左記 従事 (一) 湾口附近行着対空哨戒 (二) 出入船舶水路警備 (三) 泊地警備 (四) 艦務分給ニ補給 六水偵及監視艇前月ニ 引續キ敵潛索敵掃 蕩実施 六月一日西貢基地現在量 報告	一六〇敵情ヲ得ス 掃蕩作戦打切ル 三監視艇カムラシ基地ニ 〇二二一〇ニ依リ掃蕩ヲ止 ヲ平常配備ニ就ク 三二七〇駆潜十九カムラシ 入港補給待機 水偵隊爾後日施哨 戒實施
指揮ヲ承ケ作戰ニ 従事 (一) 第一北洋丸カムラシ方 面ニ派遣司令官 一指揮ヲ承ケ作戰 ニ従事 (二) 官房機密第一〇 〇〇番電ニ依リ 第二通信隊廢 止ナル(六月日附)	〇八二〇水偵二機(更 新機)東港奥發 一七〇〇カムラシ着 〇三〇〇永華號門ル ウエイ島附近雷 撃ヲ受沈没

七	六	五	四	三
				西
				西
				カ
				カ
				カ
				カ
三〇 八六 三〇	西晴 〇五	一五 二八 二五	二〇 二八 二〇	二〇 二八 二〇
七 六九	曇	曇	曇	曇
特 別 根 據 地 隊				
特 別 根 據 地 隊				
勢 交 通 保 護 味 方 通 信				

<p>一五五 聖沼丸護衛ヲキム 「カムラン」ニ向テ 二官房機密第〇二八五番 電ニ依リ、カミラン島防備 衛所「カムラン」本部間 有線電話架設ノ件 認許ナル</p>			
<p>一四〇 聖沼丸機密 一三三 聖沼丸機密 一三二 聖沼丸機密 一三〇 聖沼丸機密 一三〇 聖沼丸機密 一三〇 聖沼丸機密</p>	<p>一五五 聖沼丸護衛ヲキム 「カムラン」ニ向テ 二官房機密第〇二八五番 電ニ依リ、カミラン島防備 衛所「カムラン」本部間 有線電話架設ノ件 認許ナル</p>	<p>一五五 聖沼丸護衛ヲキム 「カムラン」ニ向テ 二官房機密第〇二八五番 電ニ依リ、カミラン島防備 衛所「カムラン」本部間 有線電話架設ノ件 認許ナル</p>	<p>一五五 聖沼丸護衛ヲキム 「カムラン」ニ向テ 二官房機密第〇二八五番 電ニ依リ、カミラン島防備 衛所「カムラン」本部間 有線電話架設ノ件 認許ナル</p>

0846

八	九	十	十一	十二
貢	貢	貢	貢	貢
三	三	三	三	三
三	三	三	三	三
貢	貢	貢	貢	貢
貢	貢	貢	貢	貢
貢	貢	貢	貢	貢

晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
西	西	西	西	西	西	西	西	西	西
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六

中 樞 對 敵 通 信 補 給 治 療

<p>〇八三四 聖澤十九カム ラビ入港補給特機</p>	<p>〇九〇〇 聖澤十九護衛 ヲ止ムカムラビニ向フ</p>	<p>〇八三四 聖澤十九カム ラビ入港補給特機</p>	<p>〇九〇〇 聖澤十九護衛 ヲ止ムカムラビニ向フ</p>
<p>アンダマン海軍 隊員編隊</p>		<p>アンダマン海軍 隊員編隊</p>	

0847

		十五		十四		十三
						西
		貢	西	貢	西	ン
		ン		ラ		ム
		ム	カ	貢	西	西
						カ
		ラ		ム		カ
		ラ		ム		カ
三〇	八八	南	西	一〇	六八	西
三〇	八八	南	西	一〇	六八	西
三〇	八八	南	西	一〇	六八	西
三〇	八八	南	西	一〇	六八	西

所 在 陸 軍 ノ 一 連 絡

<p>一八〇〇音羽又信令第一三          號ニ依リカムラニ三向          上西貢出港          一五五八駆潜九ノキ于一四一          〇〇一ニ依リ西貢ニ向キ          カムラニ出港</p>	<p>一八〇〇駆潜九西貢入港          補給待機          一八〇〇音羽丸カムラニ入港          補給待機          三二四五散潜ニシテ          測定三九八船國通直陸          航セシム          四二四〇散潜          測定精度日)</p>	<p>一八〇〇第一小倉丸散          潜ノ當夜才受ク          一八〇〇第一小倉丸散          潜ノ當夜才受ク</p>
<p>水偵野子一五五五是奉リ          佛時逐次港進散潜突          散及五八船國通直陸</p>	<p>一八〇〇第一小倉丸散          潜ノ當夜才受ク          一八〇〇第一小倉丸散          潜ノ當夜才受ク</p>	<p>一八〇〇第一小倉丸散          潜ノ當夜才受ク          一八〇〇第一小倉丸散          潜ノ當夜才受ク</p>

0848



天	天	天
天	天	天
天	天	天
天	天	天
天	天	天
天	天	天
天	天	天
天	天	天

晴	晴	晴
曇	曇	曇
晴	晴	晴
曇	曇	曇

<p>一掃蕩隊引續中對 潜掃蕩實施 二一五〇 駆潜九カム 音羽外掃蕩隊三台 同對潜掃蕩實施 三〇五五以後水偵機 逐次登進水上艦艇 協定索敵實施</p>	<p>一駆潜十九駆潜九及水偵機 電令作二號二依ル索 敵掃蕩實施 二一〇五 駆潜九カム 二一五〇 音羽九カム 電令作三二號二依ル敵 潜掃蕩實施</p>	<p>三〇五五 駆潜九カム 二一依ル索敵掃蕩 掃蕩實施 四二二〇 駆潜九カム 聲傳印電令作三 二二〇五 敵潜索敵 攻撃實施</p>
	<p>一傳印限電令作第 四二二依ル 二一〇五 駆潜九カム 音羽外掃蕩隊三台 同對潜掃蕩實施 三〇五五以後水偵機 逐次登進水上艦艇 協定索敵實施</p>	<p>（五五）掃蕩中 E部隊電令作第 四二二依ル 二一〇五 駆潜九カム 音羽外掃蕩隊三台 同對潜掃蕩實施 三〇五五以後水偵機 逐次登進水上艦艇 協定索敵實施</p>

0849

	千	十九
		西
力	五〇	
		西
ラ	ム	力
ラ	ム	力
八〇 八七 八二 七九 七六 七三 七〇	八〇 八五 九〇 九五 一〇〇	八〇 八五 九〇 九五 一〇〇
四	一〇	一〇

<p>掃蕩隊及水偵機敵 掃蕩隊並ニ水偵機敵 情ヲ得テ列續索敵 掃蕩突施</p>	<p>掃蕩隊及水偵機敵 掃蕩隊並ニ水偵機敵 情ヲ得テ列續索敵 掃蕩突施</p>	<p>八〇五〇駆潜九カムラヒ入 港浦給待機 五九〇音羽丸面首入港 補給修理 六八五五駆潜九三二雷貫</p>
<p>佛印狼電令作第 六号依リカムラヒ 其地部隊指揮官 ノシテ駆潜指揮 ヲ解ク</p>	<p>佛印狼電令作第 六号依リカムラヒ 其地部隊指揮官 ノシテ駆潜指揮 ヲ解ク</p>	<p>八〇五〇敵潛発見 （在）面首令 （在）情報 水偵機（三三三）</p>

0850



三五	三四	
		西
ン	ラ	ム カ
西	天	ル ドン コ ロ フ
		貢
		西
		西
ラ	ム	カ
ラ	ム	カ
一五 三三 六五	西	晴
四 六六 〇八	一	曇

<p>五、水偵機逐次発進 佛印根電令作第八号 ノ任務ヲ就ク 六、三三六駆潜九カマラン 入港補給待機</p>	<p>一〇〇一。駆潜十九佛根電 令作第九号ニ依リ護 衛ヲ打切リ。八〇〇。河 コドル。着待機 二〇九三。駆潜百三十一。機 ニ三八八六ニ依リ西貢 攻撃任務ニ就ク 三、五〇〇。電令作第八号 ノ攻撃ヲ打切ル 四、一六〇。駆潜十九佛印根 電令作第一〇号ニ依リ マロコ。下。山。西。貢。ニ。向。フ</p>	<p>一三〇〇司令官昭 南出張 (司令官全議出 席、後)</p>
<p>一〇九一五駆潜十九西貢 入港補給待機 三三八五〇〇敵潜一隻 (4-11 336E) 測定(精度B)</p>	<p>一三〇〇。四。子。敵。機 艇。浮。上。敵。潜。発。見 3334E 攻撃中 3044E 報アリ</p>	

0852

三六	六六	
頁		
		為
		頁
頁		
頁		
為		
為		
六〇 六八 〇〇 一〇 一〇	雲 霞 雨 西	一〇 三三 一七 〇〇 〇〇
四 九 七 七		四 八 〇 〇

三六偵石=協力所命 洛城索敵 掃蕩艦艇引續 掃蕩作戰完施	三〇八〇水偵機逐次 突進石作戦=協力 索敵完施 九六〇合同 掃蕩作戰=從事 第一二號=依り掃 出撃準備印根電令作 〇八三〇駆潜九カムラシヨ 一〇三三〇駆潜十九西貢ヲ	三一九四五駆潜三隻 1710N 1230E 当隊測定 (精度B)

0853

子		糸		文	
貢				西	
貢				西	
貢				西	
貢		ン		ム	
貢		ン		ム	
三〇	六六	六〇	南西	曇	晴
四	一八	一八	西	曇	雲
一〇〇〇敵情ヲ得ズ 電令作第一三號ニ依リ 掃蕩作戰打切ル 六駆潜九十九掃蕩ヲ以テ 西貢ニ向フ 系水偵隊終日索敵續 行一五三〇索敵ヲ以テ 全機順着		六掃蕩艦艇ヲ以テ水 偵隊索敵掃蕩 実施		八掃蕩艦艇ヲ以テ水偵 隊引續キ索敵掃 蕩実施 二〇〇〇電令作一三號 ニ依リ索敵区域ヲ 甚矣ヲ變更ス	
				三五五司令官 飯隊	